

# 資料 6

## 令和 6 年度 第 1 回子ども部会議事録

令和 6 年 9 月 24 日  
市役所 602 会議室

1. 部会員紹介
2. 情報交換
3. 研修テーマ
4. その他

(欠席：こども家庭センター斎藤委員)

1. 部会員自己紹介
2. 情報交換

### 【放課後等デイサービス連絡会】

内容は報酬改定による影響と、重心の児童を受け入れる事業所がない事が中心であった。医ケア児が過ごすには人員、看護師、スペースの課題が大きい。事業所として場所の提供ができないか考えている。

近隣市にも少ない。加算がどの位つくのか、個別性の高いケアの安全面はどうか、訪看が担えるのか、急変時の対応、通常学校にどの程度通えているのか…等不明点が多い。

東久留米市役所内でも担当課が分かれており実数把握がむずかしい。

今できることとして、受け入れ可能な事業所を相談員が探している現状。

### 【児の一時行方不明】

一時的な行方不明に備えて、皆で探すネットワークがあれば安心。実際の捜索時に情報共有ができ被害を少なくできる。

多くの関係機関が賛同はすると思われるが、実際に動くにはシミュレーションや訓練が必須。駅や商店街などとも連携できれば、親の安心につながる。

### 【事業所の並行利用について】

児童の支援において株式会社の参入が増えている現状。保育所と児童発達支援サービス、療育機関との併用ケースがある。1 日の中で家庭→保育園→療育機関→保育園→家庭という、日中は療育機関で朝夕だけ保育園利用のケースが出てきており、一般化しないか懸念する。就労せざるを得ない場合もあ

## 資料 6

るが、家庭で過ごす時間が少なくなっている児の負担が心配。

わかき学園としてできることは、保育園への巡回指導、保育所等訪問支援等の後方支援を行う。現在、保育所では障害等の発達につまづきのある子に対して要支援児童として加配がつき受け入れをしている。

サービスが増えて親にとっては都合よくとも、児の負担、成長、親子の時間など考える必要があると感じる。

### 【研修テーマ】

近年の豪雨や地震など対策と備えが必要。事業所ごとの BCP 計画が実行性のあるものとなるよう、互いに知恵を出し合ってはどうかと考える。市の防災課なども含めて、事業所間の特徴にあった計画作成、互いに知ることによって新たな気づきも生まれる。防災意識を高める意味でも、複数のパネリストが登壇し学びあうのはどうか。本会に提案し、市の防災計画、すみよい町作り部会とも連携できるのではないか。

先日の台風は安全のために事業所を閉めた。家族の都合もあるが、安全を優先すべきではないか。

公の施設としては出来る限り開所すべき、時間変更等も最小限にすべきと思っていたが、昨今の異常気象では受け入れの考え方を見直す必要があると感じた。

万が一事故が発生した場合は、事業所の責任が問われる。ポイントはリスクを予見できたかどうか、そのためにはマニュアルを整え、利用者やスタッフを守る事が大事である。

### 【今後の予定】

10/30 ハロウィンパレードには新規事業所も参加予定。

12/14 にぎやかカーニバル

### 【次回予定】

令和 6 年 12 月予定